

北海道から名古屋へ

会員 福富 廉

札幌雪まつりを見て太平洋フェリーに乗る、をキーワードに出かけてきたのでレポートしたい。

1. 然別湖

札幌に行く前に帯広に行き、この時期だけの冬のイベント「しかりべつ湖コタン」が開かれている然別湖を訪れた。標高 810m にある然別湖は北海道で一番高い位置にある自然湖で、冬は全面結氷して、1980年からイグルー（氷だけでできた家）やアイスバー（NCL のクルーズ船でご存知？）、氷上露天風呂、氷上スノーモービル等々、様々なイベントが行われている。



全面結氷の然別湖としかりべつ湖コタン、気温-10℃

この湖では夏季には遊覧船が走っているのですが、その興味があつた（学会ニュース 2021-097 (0819)【事務局長の「湖の遊覧船を見る」のその1は、北海道での湖紀行】、を参照）。全面結氷しているのでどこかに陸揚げされているはずなのだが、観光できる範囲にいなかった。調べていると“湖底線路”という言葉が目に入った。どうやら湖の底に線路があつて、いわゆるフォトジェニックスポットになっているらしいが、廃線跡では無くて、実は遊覧船の引き上げ船台の線路だった。観光案内所ではスノーシューが無いと行けないかも？と言われたが、すぐ傍までの道路は除雪されていて歩いて行って撮影することができた。今度は夏にぜひ乗船しに行ってみたい。



冬ごもりの然別湖遊覧船「第一いさを」（左）と「いさを」



「いさを」



「第一いさを」左奥方向に湖底線路があるはず



横から見た「いさを」

2. 太平洋フェリー「いしかり」

15 時発の苫小牧のフェリーターミナル行きのバスに乗車するために札幌駅近くの乗り場に行った。北海道新幹線の工事のために、従来のバスターミナルが廃止され、近くの路上に移されていたためだが、なんと大行列。実は前日のスキー場行きのバスでインバウンド客が多くて予定のバスに乗れず、次まで1時間待たされたので、地下鉄大谷地駅での乗車をやめて札幌駅に行ったのだが、このありさま。何とかギリギリで補助席に座ることができて安堵したが、ここや途中のバス停で乗れなかった客はどうしたのだろうか。次の16時のバスでも定刻通りなら間に合うのだが、たいてい遅れるので、船会社側はなるべく15時発に乗るように勧めている。出発が15分早い「さんふらわあ」なら、もっと厳しいところで、周りのバスの乗客も、例え連携きっぷ（パシフィックストーリーやなかよしきっぷ）を持っていても、バスと船は何も関係無いから遅れたら乗れない、等々と口々に言っていた。その後、苫小牧市内で多少の乗り降りがあったが、9割近くの乗客がフェリーターミナルまで乗車した。今回は15分程の遅れだった。

苫小牧西港のフェリーターミナルは1日7便も発着があるために賑やかだ。売店や飲食スペースも充実しているし、最上階のポートミュージアムはいつ来ても楽しい。

ここの乗船は出発の1時間半前から乗船させてくれるので、それもうれしい。ひと風呂浴びて、15分前に出発する「さんふらわあ さっぽろ」を見送り、そして「シルバー・プリンセス」を後ろに出港を見守った後、ゆっくり食事、と続けられる。出港でデッキに出てきた乗客も多かった。

冬のこの時期、太平洋側は比較的穏やかだし、何よりも太平洋フェリーは料金が安いのがうれしい。今年は夫婦100歳割引（特等半額）が無くなったので、早割（1等以上は40%引き、それ以外は半額）で1等室に乗ることにしたのだが、2か月前の売り出しと同時に予約したものの1等と洋室も特等さえもとれず、しかたなく1等和室を予約していた。ブリッジの下で景色は良くないし、夜は遮光カーテンを閉めなければならないので、ちょっと嫌だなあとは思っていたが、なんとか船内で1等と洋室に代えてもらうことができホッとした。ここの特等と1等と洋室の違いは、広さはほぼ同じでバスタブの有無とリビングスペースの仕様の違いだけ。大浴場があるために、結局、シャワーも使わなかったし、長椅子の特等に比べて和室仕様の1等と洋室は簡易ソファの使い勝手も良く、私は1等と洋室の方がいいと思っている。

ここで、「きそ」と「いしかり」なのだが、個人的には“サントリーニ”とか“ミコノス”とかエーゲ海の名前の付いた「いしかり」の方がいい気がするし、大浴場もすごく広くて気持ちがいい。ただし、後方で180°ビューのレストラン「タヒチ」のある「きそ」のほうが配置的には好きだし、それで、ラウンジ「サザンクロス」がもっと頻繁に使われれば、その方がいいとも思うの



苫小牧西港フェリーターミナル玄関前の
イルミネーション（右端は船の形）



仙台港の RORO 船、左奥から、
「豊徳丸」、「あつた丸」、「神北丸」、「神泉丸」



福島県沖で反航する「きそ」



伊良湖水道の北で追越目前の LNG 船「GRAND ANIVA」

(参考) 入渠中の「きそ」1月29日 横浜にて

だが、加えて「きそ」にはサウナもある。全体的には先代の「いしかり」の配置が良かったと思うのだけど、苫小牧～名古屋間を乗り通すなら今の「きたかみ」はちょっとなあ、という気がするの私だけだろうか。

翌日は視界も良く、金華山の景色はきれいだし、RORO 船でいっばいの仙台港のシップウォッチングも楽しかった。先月、NHK の放送で「港で気になる コンテナ全部開けちゃいました！～仙台港編～」を見たばかりだったので、コンテナターミナルの復興の様子にもとても注目した。その後、反航する「きそ」は横浜でのドック明けの初便。かなり遠くから視認できた船体はきれいで、ホーンバトルも素晴らしい。他社もイベント化して、もう少し近寄ってくれたら、うれしいのに。

今航はドック前の最終便のため、名古屋着が1時間早まると事前にアナウンスされていて、伊良湖水道には7時前（通常は8時10分頃）に入った。この時期はもうほほどに明るく、本船の直前を4つ玉（MOSS型）の巨大LNG船が北上しており、後ろにもRORO船やタンカーが続航している。1時間短いのは船旅としては少し癪だが、朝ご飯をゆっくり食べられる（いつもなら、伊良湖水道のだ真ん中で朝食）のはうれしい。船はその予定よりも15分程早く、名古屋港に入港した。

今年のドックは「きそ」が1月末に三菱重工の本牧工場だったが、「いしかり」はこの後、12時頃に内海造船の瀬戸田工場に向かった。



名古屋港の LNG 燃料 PCC「ODIN HIGHWEAY」



名古屋港に入港した「いしかり」

3. 名古屋港

フェリーが1時間早く着いたため、横浜へ帰るのに少し時間ができた。当初はガーデンふ頭辺りを見て回ることを考えたが、調べてみたら、当日は祝日だったため、金城ふ頭から名古屋駅近くのささしまライブまでの遊覧船に乗ることができることが分かった。この船は11時15分発なので、フェリーが定刻の10時30分に着いても乗ることができる。フェリーターミナルから金城ふ頭の乗り場まで歩いて20分程だ。途中は何もないふ頭域だが、あおなみ線の金城ふ頭駅付近は、レゴランドやJR東海のリニア館、展示場、体育館等々があり、祝日の当日は結構賑わっていた。

遊覧船は降りてきた客が5~6名程、乗ったのは我々2人だけだったが、名港中央大橋をくぐり、名古屋港北航路の西側に沿って、いくつかの船のすぐ傍を北上して行き、途中、ガーデンふ頭、名古屋港ポートビルの真下に立ち寄った。ここからは、かつてはしゃちほこ型の遊覧船が出ていた乗ったものだが、今はこの運河めぐりだけだ（他に、名古屋城の堀川クルーズ位?）。そこで、何人かの乗客を乗せた後、大きく回って、中川運河に入った。ここでの目玉は中川口通船門の通過。先に富山の富岩運河の中島閘門の通過についてレポート（学会ニュース 2023-176（1220）【レポート 富山の船と港】）したが、それと並ぶものだった。この日、船はここで約1m水位を下げて、名古屋駅近くの新興地域ささしまライブの乗り場に到着した。



クルーズ名古屋「東山ガーデン1」金城ふ頭乗り場（左）とささしまライブ乗り場にて



クルーズ名古屋の僚船「スーパーコメット」



名古屋港管理組合の港務艇
「ぼーとおぶなごや2」(158GT)



名港中央大橋を通過



名古屋港ガーデンふ頭全景 左から
南極観測船「ふじ」、ポートビル&海洋博物館、客船岸壁



中川運河・中川口通船門にこれから入る



中川運河・中川口通船門を出る

ちなみに名古屋港を俯瞰できる方法として高速道路（伊勢湾岸自動車道）を通る高速バスがある。ちょっと時間がかかるが、東京と関西を結ぶ昼行の JR バスである。このバス、太平洋フェリーが入出港の直前直後にくぐる名港西大橋と客船が通る名港中央大橋を通るため、港全体を見渡すことができ、東京行きの左側直ぐに太平洋フェリーを見ることができる。2階建てバスの2階最前列が最高だと思う（それ以外の席は乗客のほとんどがカーテンを引くため、ちょっと厳しい）。



高速バスから見た「いしかり」（2023年3月）



高速バスから見た名古屋港ガーデンふ頭（中央奥）
（2023年3月）